

# 平成30年度経済産業省予算のポイント(概要)

生産性革命の一環として、人工知能、ロボット等の研究開発やサイバーセキュリティ対策を重点的に支援。また、企業の生産性向上のため、地域中核企業支援や中小企業の事業承継支援を拡充。エネルギー関係では、エネルギーミックス実現に向け、省エネ関連の設備投資や再エネ関連の技術開発・実証を支援。

## 一般会計

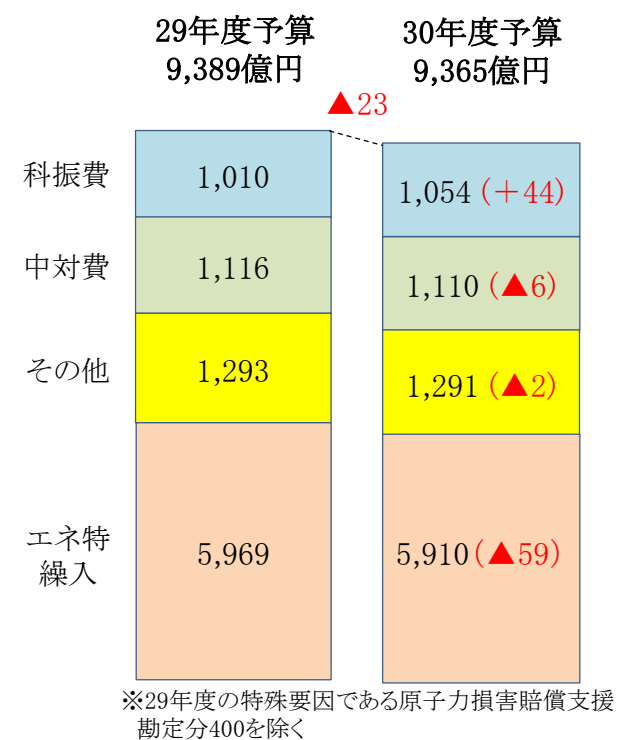
- コネクティッド・インダストリーズの推進のため、人工知能、ロボット等の研究開発やサイバーセキュリティ対策に重点的に予算措置。企業の生産性向上のため、地域中核企業支援や中小企業の事業承継支援を拡充。

## エネルギー特会

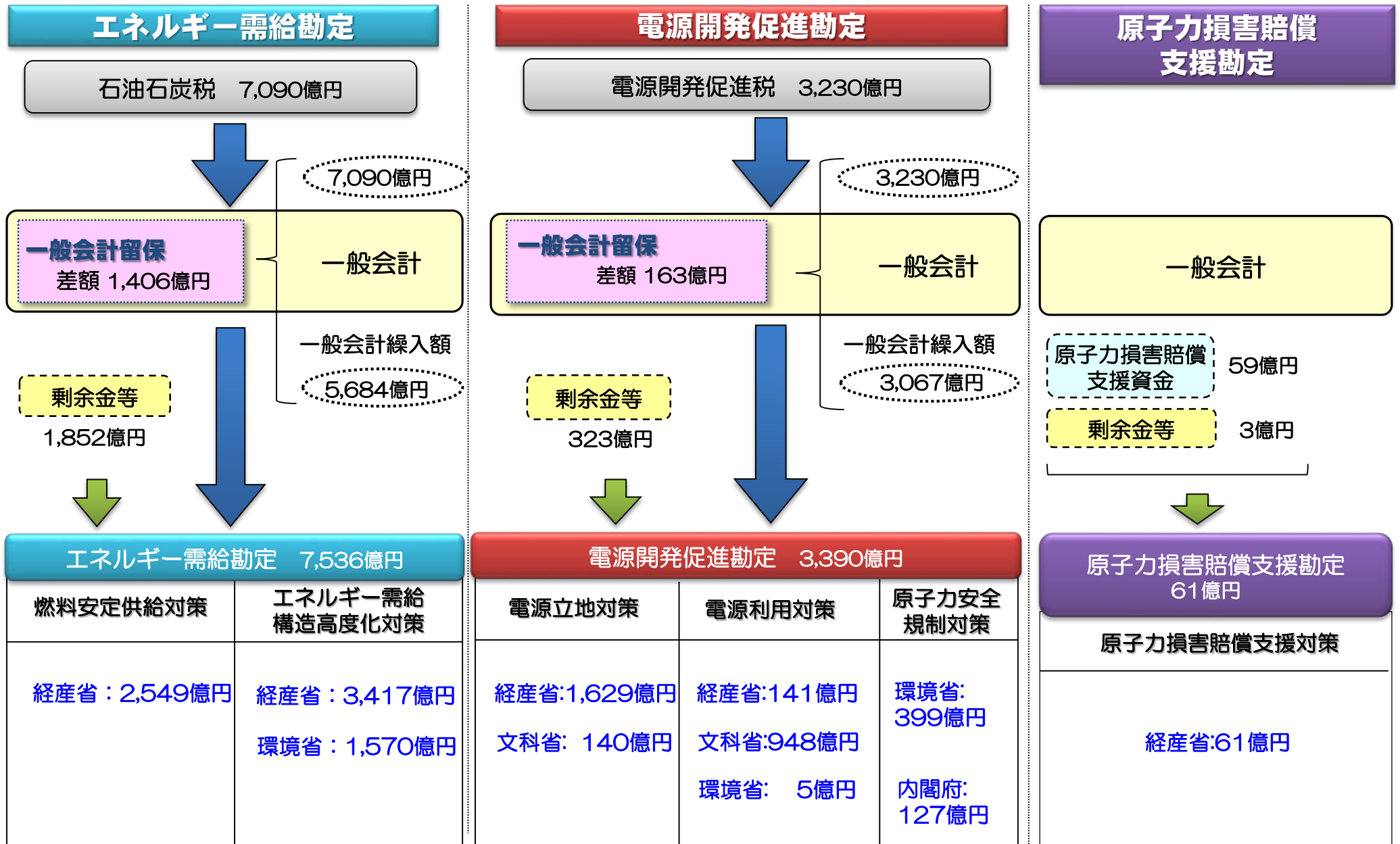
- エネルギーミックスの実現に向け、予算の重点化・効率化を進めつつ、省エネ設備投資やクリーンエネルギー自動車等の取組みを支援。また、再エネ関連の技術開発や実証に必要な予算を拡充。

## 福島復興

- 復興特会予算において、福島イノベーション・コースト構想の実現や被災中小企業の復旧事業等に必要な予算を措置。



# エネルギー対策特別会計予算の全体像(30年度予算)



# 平成30年度環境省予算のポイント(概要)

## 安全・安心な環境の確保、豊かな自然の保全・活用

- 廃棄物処理施設の適切な更新や化学物質の影響調査など、安全・安心な環境確保に重点化するとともに、国立公園など我が国の豊かな自然の保全・活用を推進。

## 地球温暖化対策の推進

- 温室効果ガス削減目標の達成に向け、再エネ・省エネを促進するとともに、地球温暖化に伴う影響への適応に係る調査・研究を加速化。

## 福島復興支援、原子力規制・防災対策

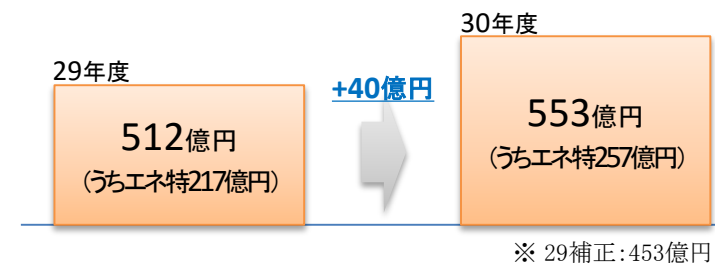
- 除染や汚染廃棄物処理、中間貯蔵施設の整備等を進めるとともに、帰還困難区域における復興拠点の整備を着実に推進。
- 原子力規制行政・モニタリングの強化を図るとともに、原子力災害時の住民の安心・安全を確保するため、原子力防災体制の充実に取り組む。

### ○予算の総額

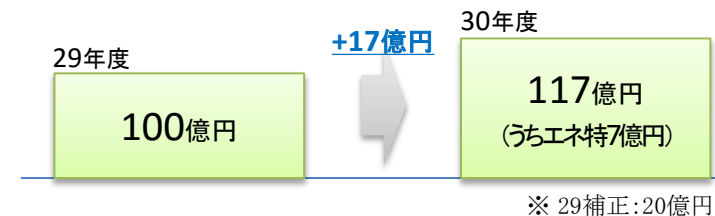
(単位: 億円)

	29年度	30年度(増▲減)
一般会計	3,267	3,273 (+6)
エネルギー特会	1,967	1,973 (+6)
復興特会	7,199	6,559 (▲640)

### ○廃棄物処理施設整備補助(循環交付金)



### ○国立公園満喫プロジェクト等推進事業



# 平成30年度裁判所・警察庁・法務省予算のポイント(概要)

## 【裁判所】

○ 大型化、複雑困難化した民事事件を適切・迅速に処理するための合議体による審理の促進、増大する家事事件の処理等に対応するため、裁判官を含む裁判所職員を増員。

○ 裁判所施設について、長寿命化、狭隘解消等の取組を計画的かつ着実に進めていく観点から整備を実施。

(単位：億円)

項目	29年度 当初 ①	30年度 予算 ②	対29年度 当初 ②-①
裁判所 一般会計	3,177	3,212	35 (+1.1%)
うち人件費	2,666	2,706	40 (+1.5%)
うち物件費	511	506	▲5 (▲0.9%)

## 【警察庁】

○ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、テロの未然防止等に的確に対応するための体制強化を行う。

○ 高度化・複雑化するサイバー犯罪・サイバー攻撃に対処するため、捜査用資機材や情報技術解析用資機材の充実・強化を行う。

(単位：億円)

項目	29年度 当初 ①	30年度 予算 ②	対29年度 当初 ②-①
警察庁 一般会計	3,185	3,151	▲34 (▲1.1%)
うち人件費	1,038	1,080	42 (+4.0%)
うち物件費	2,147	2,071	▲76 (▲3.5%)

## 【法務省】

○ 再犯防止関連施策に関して、刑務所等での施設内処遇の充実や、保護観察対象者等の社会内処遇の充実、矯正施設の整備等を実施。

○ 訪日外国人の増加やテロ等の脅威に対応するため、円滑かつ厳格な出入国審査体制を整備。

(単位：億円)

項目	29年度 当初 ①	30年度 予算 ②	対29年度 当初 ②-①
法務省 一般会計	7,504	7,638	134 (+1.8%)
うち人件費	5,022	5,111	88 (+1.8%)
うち物件費	2,481	2,527	46 (+1.9%)